

2018年3月28日

## 台湾旅行 報告

長崎総合科学大学  
総合情報学部 総合情報学科  
知能情報コース3年 濱口和也

私は、御社主催の「第3回学生ものづくり&アイデアコンテスト」において、拡張現実を用いた玩具の拡張現実のプログラムを担当しました。私は、大学に入学してから画像処理や映像処理に興味が湧きました。そこで、台湾で感映像処理技術や画像処理技術について何か情報を得れたらという思いで台湾を巡りましたが、残念ながら画像・映像処理技術に触れる機会に恵まれませんでした。そこで、今回は台湾で感じたことについて報告します。

私たちは、初日から台湾の日本人観光客向けのツアーが会社さんにお世話になりました。日本人観光客向けということでガイドさんの日本語が堪能で空港からホテルまでの道のをバスで安全に向かうことができました。ホテルについてからは世界で二番目に高い建造物である台北101の91階屋外展望台へ行き、発展した台北市内を一望してきました。その後、象山という山に登り台北市内の夜景を見てきました。以下の写真は私が撮影した象山からの台北市内の



夜景です。

台湾は長崎と似ていて、観光色が強い印象を受けました。実際には政府の政策で中国と仲が悪く、中国人観光客が激減しており日本や東南アジアの観光客をターゲットにしているとガイドさんが教えてくれました。

また、2日目には故宮博物館や中正紀念堂などの名観光地を巡り、台湾の歴史を学ぶことができました。夜には夜市をめぐり台湾名物の胡麻餅やタピオカミルクティーをいただきました。3日目には九份というランタンが綺麗でお茶屋さんで有名な観光地に行きお茶をいただきました。

台湾の3泊4日の旅行はあっという間で観光地を巡るだけで台湾の技術に触れる機会がなく少し残念でしたが楽しめたのでよかったです。台湾旅行の機会を与えていただきありがとうございました。貴重な経験ができました。